



漢字では、移り住むと書きますが、その移住の考え方は多種多様です。決まつたものはなく、人それぞれの考え方があり、こちらも型にはめることはありませんし、みんなも型にはまらず、自由な発想で考えてください。

移住のスタイルとしては、住ま

函館市地域交流まちづくりセンター内、定住化移住者サポートセンターでは、函館へ移住をご検討されている方から、移住されてきた方々まで、総合的にサポート。生活・医療・買い物等の函館情報から、先輩移住者との交流・体験談・まちなか案内等も行っています。お気軽にご相談ください。

定住化・移住者サポートセンターより

【そもそも移住ってなに?】

■ 電話 / 0138-122-19722
■ 開設日 / 無休(休館日を除く)
■ 開設時間 / 12時~20時

『ラブ里ーはこだて』

函館市地域交流まちづくりセンター3階
【担当】佐久間

移住を考えている方へ

1年間の出来事



4~9月までの全6回連続講座「函館山の歴史をめぐる講座」の様子。毎回、約20名の方が参加。



月に1回の企画運営「生涯学習体験講座まなびっと」。フェスでは10講座を同時に実施!



まちセンに研修でやってきた学生たち。まちセンチラシ大賞や、壁に貼るポップなどを作成してくれました。



まちセンの建物は5月21日に創建90周年を迎えました。写真は、6月29日に100周年を迎えた函館市電との2ショット。



2013年、まちセンを訪れた視察団の数は、52。移住や市民活動の話などの質問が多くあります。



IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]代表・川北秀人さんによる講座【自治体による社会責任(LGSR)推進が開く地域の未来】を実施。



9月1日NPOまつりを実施!74の団体が参加をし交流を深めました。



移住者交流会の様子。野外での活動のほか、センター内の会話「しゃべるべさ」も好評でした。

い・生活の全てを移す完全移住、いやいや函館は避暑が目的だから、その季節だけを楽しみたいとすれば、季節移住、函館を第二のふるさととするなら二地域移住などあります。

移住というハードルを高く考えるか低く考えるかは人それぞれですので、こちらのお手伝いは、まずは函館を知ってもらう、そして、観光ではなく函館に住むというイメージをして、結果として、移住というハードルが低くなれば、幸いです。

函館に来られてからが、本当のスタートラインです。先輩移住者や市民の方との当センターのネットワークを最大限に生かしていただき、函館に慣れる、人に慣れる、「一を二に、二を三に」というように、少しづつ階段を上げる、そんなお手伝いを目指して活動しています。

いつもご利用ありがとうございます! 昨年2013年の地域交流まちづくりセンター1年間の主な動き・出来事を、写真でご紹介! 画像と一緒に振り返りながら、2014年も変わらずご愛顧いただければ幸いです。